

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成28年度事業 点検・評価調書

4-II-7

4-II  
-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	世界遺産ガイドの養成
	節 II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実			
事業(施策)名	7 世界遺産ガイド養成事業		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農林水産課、佐渡市社会教育課、佐渡観光協会、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会
事業概要	【事業目的】 ○ 世界遺産ガイドの養成を通じて、来訪者への説明体制・ガイダンス機能の強化を図る。			
	【事業内容】 ○ 世界遺産・ジオパーク・ジオスに係るガイドのほか、移動手段等に関する総合的な知識を持つガイドや海外からの来訪者に対応できるガイド、資産ごとに詳細な説明を行うガイド等の養成について、次世代の育成も含めて検討する。			
事業実績	【事業成果】 ● H28中に佐渡市限定特例通訳案内士養成プログラムと広く佐渡を紹介できるガイドの養成プログラムを実施した。			
	【課題】 ■ 島内に複数あるガイド団体の受付窓口が佐渡観光協会や各ガイド団体で行われており、利用する観光客にとって窓口が一本化されていない。各団体の活動を活かしながら、観光客からのオーダー窓口を一本化する必要がある。また、既存ガイドの力量もばらつきがあることから、質の向上を図る必要がある。			
今後の取組・課題	【今後の取組】 ■ H29より観光客がガイドを依頼する窓口の一本化を図るため、各団体間の調整を行うとともに、資質向上のため、研修の機会を設ける。			
	【事業の達成度】 [ a ● b · c ] ◇ 世界遺産ガイド養成講座をH28年度中に完了する 今後は運用面で検討を要する。			
事業評価	【事業実施の効果】 [ a ● b · c ]			
	【総合評価】 [ A ● B · C ]			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。